



(1) 効率的・効果的な行政運営

① ICT技術等を活用した行政事務の効率化

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
会議録作成システムの導入	システムを導入し、業務効率化を図ります。	R5	デジタルリーダー主導で導入検討中。
スマートフォンを利用した市民からの道路異常通報の受付	システムを導入し、市民が簡単に通報することが可能となり、異常個所の早期対応を図ります。	R5	電子申請システムを導入し、道路、防犯灯及び公園の異常を発見した場合に登録者から通報が可能（令和5年度受付20件）
チャットボットの導入	システムを導入し、業務効率化と市民の利便性向上を図ります。	R6	検討中
要避難行動、要支援者台帳作成の効率化	AI-OCR等を活用し、システムへの登録作業を自動化し、業務効率化を図ります。	R6	検討中
法務局の登記情報と課税システムとの連携	法務局の登記情報と市課税台帳のデータ連携に向けた協議を行い、業務効率化と対応時間の短縮を図ります。	R5	令和6年度調整。令和7年度以降にデータ連携が可能となる見込み。
携帯端末活用による農地確認事務の効率化	携帯端末を活用し、農地を迅速かつ正確に把握するとともに、端末に直接情報を入力することで、資料整理の時間を短縮します。	R6	令和4年度に携帯端末機を導入し、農地の現地確認の場所が正確に把握できている。

② 行政手続きのデジタル化・オンライン化の推進

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
マイナンバー制度を用いた電子申請可能事務の拡充	マイナポータルを活用した情報提供や各種行政手続きの電子申請の導入、拡充に取り組み、市民の利便性向上を図ります。	R5	電子申請システムを導入し、住民票の写しの交付等が申請できるようになっている。また、クレジットカード等の決済も自宅や、居住先から申請できるようになっている。
佐渡市民サービスカードのデジタル化	佐渡市民サービスカードのデジタル化を推進し、市民の利便性と業務効率化を図ります。	R4	佐渡汽船側の課題が多く、マイナンバーカード（個人番号以外の情報利用）への移行が進んでいない。

③ 官民の役割分担の明確化

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
公民連携の推進	公民連携手法の推進にむけた指針を策定し、適正かつ効果的に公民連携の導入を検討していきます。	R4	令和5年度から児童クラブ（学童保育）の運営を民間に移行できた。市営キャンプ場は、公民連携による有効活用策を検討中。
福祉施設等の民間運営	民間による新たな介護老人福祉施設等の建設、運営を進めます。	R6	市直営の介護老人福祉施設について、令和6年9月民間による新設、運営移管ができた。
給与事務等における業務改善及び民間委託	民間委託が可能な業務について検討し、業務効率化を図ります。	R6	給与明細書の電子化への移行同意者の増加を図り、パートタイム会計年度任用職員やシステム導入がされていない施設職員を除き、多数の職員より同意を得ている。
性能発注による下水道処理施設の民間委託	性能発注を取り入れた包括的民間委託の導入を検討し、維持管理費の抑制を図ります。	R6	令和6年度から一部の浄化センターで包括的民間委託を実施。今後、性能発注を含めた包括委託契約等を進めていくよう検討している。

④ 連携・協議の地域づくり

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
広報広聴機能の充実	多様な情報媒体を活用したプッシュ型の広報や、年代別、テーマ別等、様々な形の意見交換会を充実させ、市民と行政が身近に感じられるよう取組みます。	R4	公式SNS（LINE、X、Instagram、Facebook等）を積極的に活用し、広報行っている。 【令和6年2月現在、友だち・フォロワー数】 LINE 10,235人 Facebook 4,011人 X（旧ツイッター） 3,006人 ヤフー 8,870人

(2) 人材育成の推進

① 人材育成

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
各種職員研修の実施	階層研修や専門研修、内部研修を実施し、職員の政策立案能力及び説明力の向上を図ります。	R4	令和4年度に係長研修として、説明力向上研修を、令和5年度、令和6年度は様々な在職年数や役職別の研修を実施している
適正な人事評価	評価者が適正な評価が行えるよう、評価者研修を行います。	R4	評価者研修を行っている。また、令和6年度から、評価制度の改定で、必ず改善を図った業務管理を設定している。

② 働き方改革による取組の推進

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
業務効率向上及び業務平準化の推進	課内会議等の実施により、業務効率化への意識改革と業務の平準化に努め、時間外勤務の削減を図ります。	R4	庁議、部長会議、課内会議を実施しているが、業務効率化への意識改革に中々つながらないため、市役所改革プロジェクトチームを設置し、現在実行計画を策定中。

③ 外部人材、専門人材の活用

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
外部人材の活用及び専門人材の育成	外部人材を積極的に検討するとともに、専門技術等の継承を目的とする研修を行います。	R4	外部人材と業務を進めていく中で、市職員の人事育成や組織風土の変革につながった。

(3) 効率的で機能的な組織体制の構築

① 機能的な組織体制の構築

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
効果的で機能的な組織の構築	プロジェクトチーム等を活用し、様々な行政課題・施策に迅速、柔軟に対応できる組織を構築します。	R4	令和4年度以降、3つのプロジェクトチーム等を設置してきた。島内資源循環タスクフォース、デジタルリーダー、市役所改革PT。

② 専門的業務、定型的業務の集約化

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
専門的業務と定型的業務の整理、集約化	職員の業務実態分析を行い、専門業務と定型的業務の区分け、集約化を行い、RPA導入や民間委託等で業務効率化を図ります。	R5	令和6年度中に業務実態分析をプレ導入する見込み。 令和7年度から研修を含め、全庁体制での対応を検討中。

(4) 健全な行財政運営

① 公共施設の適正な管理

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
公共施設等総合管理計画に基づく施設マネジメントの推進	全島的な公共施設の適正配置について検討を進めながら、延床面積の総量削減に努めます。	R4	令和5年度に公共施設あり方検討会（懇談会）を実施し、公共施設再配置基本方針の策定に向け意見集約を行った。

② 財政計画に基づいた行財政運営

取組事項	取組みの方向性	実施予定年度	進捗状況
行政評価を活用した事務事業の見直し	評価結果に基づいた予算編成や事務事業の再編・整理を行い、必要性や効果が高い事業への財源として活用します。	R4	令和4年度、令和5年度に行政改革推進委員会で実施した。 <u>令和7年度予算編成に向けて反映を検討中。</u>
公債費の抑制と、将来負担の軽減化	市債の計画的な発行等によるプライマリーバランスの黒字化と、実施公債費比率を18%以下に抑制します。	R4	令和5年度決算において、実質収支は11億370万8千円の黒字となった。令和4年度の実質公債比率は11.9%。
市民にわかりやすい財政情報の公表、財務の透明性を確保	市民が市の財政を身近に感じ、財政運営の現状と課題を共有できるよう、財政状況の公表資料を見直します。	R4	ホームページ及び市報で公表している。
突発的な財政需要に対応するため、適正な基金残高を確保	安定した財政運営が可能となるよう、財政調整基金をはじめ、主要基金の一定の保有額の確保に努めます。	R4	令和5年度決算時 財政調整基金 3,418,902千円、減債基金1,189,399千円、その他特定目的基金8,344,674千円
国県などの補助制度の活用など、積極的な財源確保の徹底	予算編成基本方針や査定等において、国県補助制度の活用、一般財源総額の抑制について、周知と確認を徹底します。	R4	予算編成時において周知、査定時でフォローアップを行っている。